

定期作況報告

(第2号 平成26年6月20日現在)

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場

1. 気象概況

5月下旬：最高気温は平年より1.4℃高く、最低気温も平年より0.3℃高かった。降水量は平年より24.0mm少なく、平年対比6%であった。降水日数は平年より3日少なかった。日照時間は平年より13.8時間多く、平年対比120%であった。夏日（最高気温25℃以上）は3日、うち真夏日（最高気温30℃以上）は1日であった。

6月上旬：最高気温は平年より5.1℃高く、最低気温も平年より3.4℃高かった。降水量は平年より4.3mm少なく、平年対比66%であった。降水日数は平年より1日少なかった。日照時間は平年より20.4時間多く、平年対比133%であった。夏日は8日、うち真夏日は3日であった。

6月中旬：最高気温は平年より2.4℃低く、最低気温は平年より1.5℃高かった。降水量は平年より37.2mm多く、平年対比236%であった。降水日数は平年より5日多かった。日照時間は平年より36.8時間少なく、平年対比32%であった。夏日は1日、うち真夏日は無かった。

5月下旬から6月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	5月下旬			6月上旬			6月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	21.3	19.9	1.4	28.1	23.0	5.1	21.2	23.6	▲ 2.4	23.5	22.2	1.3
最低気温(℃)	7.7	7.4	0.3	13.8	10.4	3.4	14.1	12.6	1.5	11.9	10.1	1.8
平均気温(℃)	14.7	13.4	1.3	20.5	16.2	4.3	16.9	17.6	▲ 0.7	17.4	15.7	1.7
降水量(mm)	1.5	25.5	▲ 24.0	8.5	12.8	▲ 4.3	64.5	27.3	37.2	74.5	65.6	8.9
降水日数(日)	1	4	▲ 3	2	3	▲ 1	9	4	5	12	11	1
日照時間(hr)	81.8	68.0	13.8	82.4	62.0	20.4	17.6	54.4	▲ 36.8	181.8	184.4	▲ 2.6

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10カ年の平均値。

3) ▲印は平年に比べて減を示す。

1) 水 稲：やや不良

5月20日現在：並

事由：播種は平年より1~2日遅い4月15日に行った。育苗期間中は、平年より高温多照で、出芽揃も良好で、苗の生育は進んだ。移植は平年より3日早い5月16日に行った。移植時の草丈は平年に比べ「きらら397」が1.1cm高く「ななつぼし」が0.6cm高く、「ゆめぴりか」が1.0cm低かった。主稈葉数および茎数はいずれも平年並で、第1葉鞘高は0.8cm低く、地上部乾物重は平年に比べ「きらら397」と「ななつぼし」でそれぞれ0.29、0.23g重く、「ゆめぴりか」で1.11g軽かった。以上のように移植時の苗素質は平年並みであった。移植後2日間は極低温に経過し、植え痛みがみられた。

これらのことから、目下の作況は「並」である。

6月20日現在作況：やや不良

事由：移植直後に低温による植痛みがあったが、5月末から6月第1週まで好天が続き、順調に回復した。しかし、6月第2週以降は降雨が続き、日照も少なかったことから、主稈葉数は平年に比べ0.5~0.6枚多いものの、草丈は「きらら397」「ゆめぴりか」でそれぞれ1.9、1.2cm高く、「ななつぼし」で2.4cm低く総じて平年並みで、 m^2 あたりの茎数は10~37%少なかった。

生育は進んでいるものの、茎数が不足していることから、目下の作況は「やや不良」である。

表2 6月20日の水稻の生育

項目	品種名 /年次	ななつぼし			きらら397			ゆめぴりか			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
生育期節	播種期 (月日)	4.15	4.14	1	4.15	4.13	1	4.15	4.14	1	
	移植期 (月日)	5.16	5.19	△3	5.16	5.19	△3	5.16	5.19	△3	
	幼穂形成期 (月日)		6.22			6.24			6.24		
	止葉期 (月日)		7.08			7.11			7.09		
	出穂期 (月日)		7.20			7.22			7.20		
	成熟期 (月日)		9.07			9.10			9.06		
	穂揃日数 (日)		7			7			8		
	登熟日数 (日)		49			50			48		
	生育日数 (日)		147			149			145		
移植時	草丈 (cm)	13.8	13.2	0.6	13.6	12.5	1.1	12.5	13.5	▲ 1.0	
	葉数 (枚)	4.2	4.0	0.2	4.4	4.1	0.3	4.5	4.3	0.2	
	茎数 (本)	1.8	1.7	0.1	2.1	1.9	0.2	2.2	2.0	0.2	
	第1葉鞘高 (cm)	1.8	2.6	▲ 0.8	1.8	2.6	▲ 0.8	1.7	2.5	▲ 0.8	
	地上部乾物重 (g/100本)	4.46	4.23	0.23	4.36	4.07	0.29	3.67	4.78	▲ 1.11	
本田生育	葉数 (枚)	6月20日	8.9	8.3	0.6	9.2	8.7	0.5	9.2	8.6	0.6
		7月20日		10.3			11.1			10.7	
		止葉葉数		10.3			11.1			10.7	
	茎数 (本/m ²)	6月20日	504	624	▲ 120	465	743	▲ 278	617	683	▲ 66
		7月20日		742			814			813	
	草丈 (cm)	6月20日	38.5	40.9	▲ 2.4	36.7	34.8	1.9	39.1	37.9	1.2
7月20日			83.1			74.6			79.9		
出穂期後 登熟歩合 (%)	20日目		13.2			13.7			14.7		
	30日目		57.0			63.4			59.4		
	40日目		82.7			81.7			80.1		
成熟期	稈長 (cm)		67.3			61.8			65.1		
	穂長 (cm)		16.9			16.7			16.8		
	穂数 (本/m ²)		680			744			746		
収量構成要素	一穂粒数 (粒)		49.6			42.0			42.7		
	m ² あたり粒数 (×千)		33.8			31.1			31.7		
	稔実歩合 (%)		95.6			94.5			95.0		
	登熟歩合 (%)		89.6			86.0			86.2		
	籾摺歩合 (%)		81.9			81.4			79.1		
	屑米歩合 (%)		1.6			1.8			3.0		
収量	精玄米千粒重 (g)		22.5			23.3			23.0		
	葉重 (kg/10a)		633			596			622		
	精籾重 (kg/10a)		807			789			812		
	精玄米重 (kg/10a)		661			642			641		
	収量平年比 (%)		100			100			100		
	検査等級 (等)		1下			1下			1下		

注 1) 「きらら397」「ななつぼし」の平年値は前7カ年の中、平成20年(最豊年)、平成21年(最凶年)を除く5カ年の平均。「ゆめぴりか」の平年値は前6カ年中、平成21年(最凶年)を除く5カ年の平均。

2) △は平年に比べ「早」、▲は平年に比べ「減」を示す。

3) 苗代耕種概要 育苗様式：成苗ポット苗

施肥量：成分量でm²あたり、床土 N 3.0g, P 7.2g, K 3.0g、置床 N 27.0g, P 34.0g, K 18.0g

4) 本田耕種概要 栽植密度：25.3株/m² (33.0cm×12.0cm)、3本植

施肥量：成分量で10aあたり、N 8.0kg, P 9.7kg, 6.9kg, 堆肥1,000kg

5) 精玄米千粒重・精玄米重：網目1.90mm以上、水分15%換算

2) 秋まき小麦：やや不良

平成25年

9月20日現在

平年より4日早い9月11日に播種を行った。出芽期は9月20日で平年より4日早い。

10月20日現在：並

事由：現在のところ、平年と比較して葉数がやや多く、生育は進んでいる。草丈は高いが、茎数はやや少ない。

平成26年

5月20日現在：並

事由：根雪始は平年より1日遅く、根雪終は平年より9日遅く、積雪期間は平年より8日長い146日となった。雪腐病発病度は平年並で、発生菌種は紅色雪腐病が主体であった。越冬前茎数は少なかったが、越冬茎歩合は平年より高く、現在の茎数は平年並である。根雪終が平年より遅かったが、4月下旬以降気温が平年より高く推移したため、現在の草丈はほぼ平年並である。

したがって、目下の作況は「並」である。

6月20日現在：やや不良

事由：5月下旬から6月上旬にかけて高温・干ばつ傾向で推移した。そのため生育が進み、出穂期は平年より3日早く、草丈は平年を下回っている。また、茎の無効分げつ化も進み、m²当たり茎数は平年より少ない。

したがって、目下の作況は「やや不良」である。

表2. 6月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名		きたほなみ		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期 (月.日)		9.11	9.15	△ 4
出芽期 (月.日)		9.20	9.24	△ 4
出穂期 (月.日)		6.03	6.06	△ 3
成熟期 (月.日)			7.18	
越冬茎歩合 (%)		140.4	121.5	18.9
雪腐病発病度		12.5	10.1	2.4
葉数(枚)	平25年10月20日	5.1	4.4	0.7
草丈 (cm)	平25年10月20日	20.3	17.8	2.5
	平26年 5月20日	37.4	41.3	▲ 3.9
	平26年 6月20日	82.0	89.6	▲ 7.6
茎数 (本/m ²)	平25年10月20日	717	747	▲ 30
	平26年 5月20日	1341	1277	64
	平26年 6月20日	633	689	▲ 56
成 熟 期	稈長 (cm)		81	
	穂長 (cm)		8.6	
	穂数(本/m ²)		656	
子実重 (kg/10a)			676	
同上平年比 (%)			100	
リットル重 (g)			799	
千粒重 (g)			40.1	
検査等級 (等)			2中	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成19年、22年（収穫年度）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

3) 春まき小麦：良

5月20日現在：良

事由：融雪は遅れたがその後の天候が良好であったため、播種期は平年より2日早い4月18日であった。播種後、平年より気温が高く経過したことから、出芽期は平年より4日早い4月30日となった。出芽後も気温が高く経過したため生育は良好で、草丈、茎数は明らかに平年を上回っている。

したがって、目下の作況は「良」である。

6月20日現在：良

事由：5月下旬以降も引き続き高温・多照に経過したことから生育は良好で、出穂期は平年より7日早く、草丈およびm²当たり茎数ともに平年を上回った。

したがって、目下の作況は「良」である。

表3. 6月20日の春まき小麦の生育

品 種 名		春よ恋		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	4.18	4.20	△ 2
出芽期	(月.日)	4.30	5.04	△ 4
出穂期	(月.日)	6.11	6.18	△ 7
成熟期	(月.日)		7.29	
草丈 (cm)	5月20日	25.7	19.5	6.2
	6月20日	93.9	75.6	18.3
茎数 (本/m ²)	5月20日	913	569	344
	6月20日	705	657	48
成 熟 期	稈長 (cm)		91	
	穂長 (cm)		8.7	
	穂数(本/m ²)		504	
子実重	(kg/10a)		479	
同上	平年比 (%)		100	
リットル重	(g)		793	
千粒重	(g)		40.1	
検査等級	(等)		2中	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成22年、24年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。

4) 大豆：良

6月20日現在：良

事由：播種期は平年より7日早い5月15日であった。播種直後に十分な降水があったため、出芽揃いに大きな問題はなかったが、出芽期の平年との差は播種直後の著しい低温により3日に縮まった。出芽期前後は著しい高温・少雨に経過し、出芽直後の生育は緩慢であったが、6月9日以降の連続した降雨と少照により徒長気味に伸長が進み、主茎長、主茎節数とも平年を上回っている。

したがって、目下の作況は「良」である。

表4 6月20日の大豆の生育

品 種 名		ユキホマレ		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	5.15	5.22	△7
出芽期	(月.日)	5.31	6.03	△3
開花期	(月.日)		7.11	
成熟期	(月.日)		9.21	
主茎長 (cm)	6月20日	18.4	13.3	5.1
	7月20日		63.7	
	8月20日		69.8	
	9月20日		69.2	
	成熟期		70.1	
主茎 節数 (節)	6月20日	5.4	4.6	0.8
	7月20日		10.4	
	8月20日		10.5	
	9月20日		10.4	
	成熟期		10.5	
分枝数 (本/株)	7月20日		7.1	
	8月20日		7.2	
	9月20日		5.9	
	成熟期		5.7	
着莢数 (個/株)	8月20日		83	
	9月20日		73	
	成熟期		73	
子実重	(kg/10a)		421	
同上	平年比 (%)		100	
百粒重	(g)		37.6	
屑粒率	(%)		3.6	
検査等級	(等)		3上	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成20年、22年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。

5) 小 豆： 良

6月20日現在：良

事由：播種期は平年より2日早い5月22日であった。出芽期は6月5日で平年より4日早かったが、播種後の高温と少雨により出芽は不ぞろいであった。6月上旬に著しい高温、乾燥となったが、6月中旬には連続した降水があったため、主茎長、本葉数とも平年を上回っている。

したがって、目下の作況は「良」である。

表5 6月20日の小豆の生育

品 種 名		エリモシヨウズ		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	5.22	5.24	△ 2
出芽期	(月.日)	6.05	6.09	△ 4
開花期	(月.日)		7.21	
成熟期	(月.日)		9. 3	
主茎長 (cm)	6月20日	6.5	4.8	1.7
	7月20日		36.5	
	8月20日		68.7	
	成熟期		74.0	
本葉数 (枚)	6月20日	2.3	1.3	1.0
	7月20日		9.7	
	8月20日		13.3	
主茎節数 (節)	成熟期		15.2	
分枝数 (本/株)	7月20日		6.1	
	8月20日		2.7	
	成熟期		5.2	
着莢数 (個/株)	8月20日		56.2	
	成熟期		56.0	
子実重	(kg/10a)		308	
同上	平年比 (%)		100	
百粒重	(g)		12.4	
屑粒率	(%)		3.4	
検査等級	(等)		3下	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成19年、平成20年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。

6) ばれいしょ： やや良

5月20日現在

植付けは、平年（5月11日）より3日早い5月8日に行った。

6月20日現在： やや良

事由：植付けは平年より3日早かったが、5月第4半旬から第5半旬にかけて低温に経過したため、萌芽期は平年より1日遅かった。5月第6半旬から6月上旬にかけての記録的な猛暑により初期生育は早く、さらに6月9日以降の連続した降雨と少照により茎の伸長が徒長気味に進み、茎長は平年より8.9cm長い。

したがって、目下の作況は「やや良」である。

表6. 6月20日のばれいしょの生育

品 種 名		男爵薯		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
植付期 (月.日)		5.08	5.11	△ 3
萌芽期 (月.日)		5.29	5.28	1
開花始 (月.日)			6.23	
枯凋期 (月.日)			8.31	
茎長 (cm)	6月20日	43.2	34.3	8.9
	7月20日		46.0	
上いも数 (個/株)	7月20日		9.6	
	8月20日		11.3	
上いも平均一個重 (g)	7月20日		75	
	8月20日		95	
上いも収量 (kg/10a)	7月20日		3165	
	8月20日		4686	
でん粉価 (%)	7月20日		13.5	
	8月20日		15.4	
収 穫 期	上いも数 (個/株)		11.1	
	上いも平均一個重 (g)		96	
	上いも収量 (kg/10a)		4650	
	同上平年比 (%)		100	
	中以上いも収量 (kg/10a)		4059	
	同上平年比 (%)		100	
	規格内いも収量 (kg/10a)		3887	
	同上平年比 (%)		100	
	でん粉価 (%)		15.3	

注 1) 平年値は、前7か年中、平成19年、22年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を示す。

※5月20日時点で播種していなかった小豆の耕種概要は以下の通りです。

表7 小豆の耕種概要

作物名	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株 本数 (本)	播種 粒数 (粒/m ²)	株数 (株/10a)	施肥量 (kg/10a)				
							N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥
小豆	秋まき小麦	60	20	2	-	8333	3.0	12.0	7.0	3.0	-